

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本記録会は、2026年度（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会要項及び申合せ事項よって行う。

2 競技場使用について

- (1) 競技開始後のウォーミングアップは、バックストレート等を使用する。
- (2) 競技において、裸足は、一切禁止する。
- (3) 雨天走路内は、招集所、および、選手の控え場所として使用する。更衣室も使用可。

3 競技者の招集について

- (1) トラック競技の招集は、雨天走路とし、フィールド競技の招集は、各ピットとする。
- (2) 招集時刻は、競技開始時刻10分前を原則とする。
- (3) 競技者は、招集時刻までに、各招集場所に集合し、点呼を受け、係員の誘導に従って入場する。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する時、招集時刻までに、各クラブの監督・コーチ等がその旨を情報処理係に連絡する。

4 競技運営について

- (1) レーンで行う競技種目について、1・2年50mと3年の100mは、1・3・5・7・9の奇数レーン、40mHは、2～4レーン、50mHは、6～9レーンを使用し、棄権者があった場合、そのレーンは、空けたままとする。
- (2) 時計は、写真判定機（1/100秒）とする。
- (3) トラック競技は、全てタイムレース決勝とする。
- (4) 小学3年生以上は、スタブロを使用し、コールは、全てインクグリッシュコールで行う。
- (5) フライング（不正出発）は、3回で失格とする。
- (6) 40mHは、高さ50cm、台数4台、アプローチ13m、インターバル6.5mとする。
- (7) 50mHは、高さ60cm、台数5台、アプローチ13m、インターバル7mとする。
- (8) 高跳、走高跳は、同一の高さ3回以内の試技とし、正面とび（はさみとび）を有効試技とする。
脚から着地しない場合は、無効試技とする。
○バーの上げ方は次の通りとする。
 - ・高 跳（練習 70）80 85 90 95 100 105 110 112 以降2cmずつ上げる。
 - ・走高跳（練習 90）95 100 105 110 115 118 120 122 以降2cmずつ上げる。
- (9) 立幅跳は、2回試技、幅跳びと走幅跳は、3回試技とし、有効試技のみ計測する。全てファウルの場合は、最終試技を参考記録として計測する。
- (10) ジャベリックボール投げは、3回試技とする。
- (11) 抗議は、競技規則第147条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。

5 ナンバーカードについて

○トラック競技は、全ての種目、腰ナンバーシールを右臀部に貼る。ただし、リレーは、アンカーのみとする。

6 用器具について

○競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

7 表彰について

○各種目8位以内の選手に賞状を授与する。

8 その他

○速報記録は、GRFホームページに随時掲載する。



QRコード